レース報告

[1]大会名　2023ワールドトライアスロンカップ　ヨンド大会

[2]開催日　2023 年 8 月 6 日(日)　スタート 06:00

[3]開催地　韓国 釜山 ヨンド市

[4]競技情報　スタンダードディスタンス51.5km

スイム1.5km（750m×2)、バイク40km（5 km×8)、ラン10km（2.5km×4）

[5]大会結果　招待制度により順位なし

【感想と想い】

この度は日本代表として韓国で開催されたワールドカップへ行ってきました。選考基準が昨年(2022 年)のランキングチャンピオン及び日本選手権チャンピオンから 10 名。この中に選んでいただきました。

今回の重要任務が韓国開催で日韓交流を図ること！これは良いことで、ましてや私は 20 年ほど前から広島と韓国の交流でよく行かせてもらっていたこともあり、韓国連合スタッフには知り合いも多い。また韓国がトライアスロンに力を入れている時代には街中のオーロラビジョンやメディアにもよく登場させて頂いていましたもので、我々の世代でいまだに知ってくれている人たちがおり、今回もそんな人たちが声をかけてくれたり懇親会の時もその話になったり、当時は選手だった若い人がコーチになっていたりで、今回の写真の中にはその彼が撮影したものもあります。

エリートカテゴリー(オリンピックを目指す選手たち)のレースが前日にあり、その晩に日韓親善交流会が執り行われました。その辺りで知らされたこと…「今回私ら招待選手は順位はつかないこと」…選手として順位を狙ってきていたもので、少し拍子抜けになってしまったことは事実です。

ただ、今回出発日の水曜日に最終刺激練習で腿の裏側(ハムストリング)を痛めてしまっていたことがあります。当日まで走ることはせずにスイムとバイク、そしてホテル内での筋トレで調整しました。当日は何とか走ることが出来ましたが、ランは本当に力を発揮できない状況で、いわゆる「こなした」感じでレースを終えました。順位が付くとなると相当な負担や無理をしていたことを考えればこれでよかったのかとも思っています。

社会的に日韓親善が出来たことは、これは日本トライアスロン界にとっても良いことになっていると思います。日本と変わらない夏の暑さの中、本来思っていた挑戦の形ではなかったが、日本選手団リーダーとして役目を終えたことも役目を達成できたと思っています。
ワールドカップなので日の丸を掲げてフィニッシュしたかったところですが、今回はお預け。またそのチャンスをつかんで挑戦したいと思います。

この遠征に対して、直接ご支援いただいたアトム様、万田発酵様、また間接的に支援いただいているこれをお読みになっているすべての皆様に感謝申し上げます。
「あきらめなければ夢 100%」頑張ってまいります！

プロマインドトライアスリート　福元テツロー








World
Triathlon
YEONGD
2023


2XU






FELT
BUSAN
JOO
NTT
FUKUMOTO
JPN
KUYAMA
JPN
263


2023
World Triathlon
YEONGDO
KOREA
World Triathlon
Cup
YEONG DO
2023

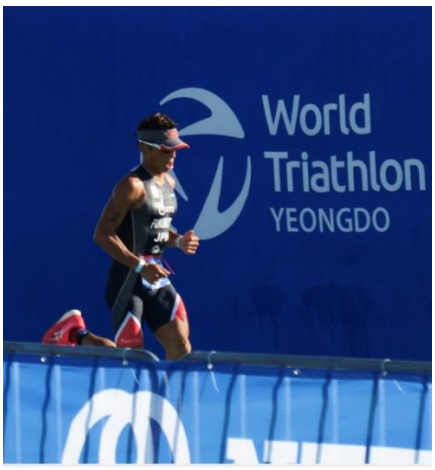

NTT
SHIMAZAKI
JPN


NTT
FUKUMOTO
JPN
NTT
SHIMAZAKI
JPN




NTT
KUYAMA
JPN




World
Triathlon
YEONGDO

